

藤塚地区にぎわいづくり検討会 第2回 議事録【概要版】

日 時：令和4年7月15日 13:30～16:15

場 所：みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター 講義室

出席委員：宮原座長、今崎委員、櫻井委員、宍戸委員、東海林委員、平間委員、平舘委員、渡邊委員、奥山委員、川邊委員、大黒委員

事務局：公園整備課長、観光課企画調整担当課長、若林区海浜エリア活性化企画室長、宮城野区まちづくり推進部海浜エリア活性化担当課長

司 会：公園整備課主幹兼建設係長

1. 開会	司会(事務局)あいさつ。
2. 事務局説明	阿部公園整備課長より、検討会の趣旨説明と宮城県で公表された津波浸水想定の設定公表について説明。
宮原座長	座長よりあいさつ。
	(進行座長)
宮原座長	・会議の成立・非成立：全員参加により成立 ・議事録署名人の指名：宮原座長、櫻井委員
事務局	現地視察の説明
3. 現地視察	現地視察 (13:45～14:45)
名取市商工観光課	閑上地区かわまちづくりの概要
4. 議事	
宮原座長	・検討会を再開する。 ・今回は検討会2回目だが、3回目までに藤塚の整備イメージについて具体的な意見を頂きたい。
事務局	議題(1) 新たなにぎわい・回遊について 事務局より説明
宮原座長	・今の説明や現地で感じたことをもとに、新たなにぎわい、回遊のアイデアや舟運の復活、サイクルトレイル、アクアイグニスとの連結性の話など、ご意見をいただきたい。
今崎委員	・資料にある小豆島のサイクリストを運ぶ渡し船について、船の規格などの詳しい資料をいただきたい。
事務局	・詳細について小豆島の関係に問い合わせることは可能。
今崎委員	・親水護岸や栈橋について、安全に船に乗り降りできるように、当然ながら自転車も安全に乗り降りできるよう、整備して頂きたい。 ・閑上の栈橋も低気圧などで水かさが増し、被害がある。今後は、藤塚でも水位・潮位などにも注意・対策する必要がある。

櫻井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸は栈橋・デッキ状にして簡単に乗り降りできるようにしてほしい。 ・親水護岸の位置からアクアイグニスまで距離が遠い。トロッコ列車などを利用することで子供も喜ぶ。予算も少なく済むので、安全にアクセス路を整備してほしい。 ・自転車道の認知度が低い。小さくても良いので、アクアイグニスをスタート地点にした自転車の大会開催の提案をしてもらいたい。 ・井土浦は震災前から大きく変わり、釧路湿原のようですばらしい。環境を維持しながらボートやカヌー・カヤックなどで観察できれば良い。新たな湿地帯の存在をマスコミに広めてもらいたい。 ・貞山運河は自然環境が豊かであり、水辺で遊ぶなど自然を活かした整備ができれば良い。 ・7月31日に広浦で親子カヤックイベントを開催する。12組の定員に180組の応募があった。水辺で遊ぶことに非常に関心が高い。応募の95%は仙台市民。
東海林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・五柱神社の本来の姿には遠い。色々整備をする予定で、年内に恰好が付く予定。昔からあるものは、五柱神社しかないので、歴史などの説明をするなど、今後の目玉としたい。 ・住所の字名、屋敷、一本松、松野西、牛道下（塩田から塩を牛で運ぶための道）など歴史に由来がある地名があるので、昔からある道を残し、地名も表示してほしい。 ・子供が遊べて、自由度が高い芝生などの広場を造ってもらい、遊歩道を神社や貞山堀まで繋げてほしい。アクアイグニスに来た人が空き時間を有効に活用できる。 ・舟溜まりは、自転車道の橋を撤去し、既存の基礎などを使うことでお金をかけずに整備できると思う。 ・貞山堀で釣りをするのに、藪が延びている。草が生えないような水際の整備をしてほしい。堤防上にベンチなど休める場所がほしい。
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県道から距離があり、広場だけでは呼び込めない。隣にアクアイグニスがあるため、一体となった整備が必要。 ・キャンプ場は水道を引いてトイレを置けば成立するため、一部分をデイキャンプやグランピング等の利用が考えられる。アクアイグニスの一流シェフプロデュースによるBBQセットなど企画するなどプレミアム感を出すのはどうか。
平間委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アクアイグニスを3か月営業してはつきりしたのは、天候に売り上げが左右されるということ。暑すぎても雨が降っても風が強くても来客が減少する。 ・施設内に日除け施設が足りないのが当面の課題。 ・温泉棟前の水盤で子供を遊ばせたいという問い合わせが多い。 ・小さなお子さん連れの若い親御さんは、安全で衛生的な水場を求めている。 ・貞山運河のカヌーとは別に、噴水など小さな子供が安全に遊べて、帰りに着替えができ、洗えるような場所を整備してみてもどうか。 ・いつかは水盤を噴水に替えてみたい。最近水盤にカニが棲みついている。
宍戸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦にウナギの漁業権が付いている。震災前は水深が3m以上あり、ひっかけ漁ができていたが、砂が堆積したことで船が入れず、漁はできずにいる。 ・貞山堀の二郷堀から七北田川合流地点までシジミと餌ムシの漁業権が付いている。シジミの漁は昨年から再開し、5月から9月まで漁があり、船の出入りについてご配慮いただきたい。 ・2月20日から4月30日まで夜間にシラスウナギ漁が行われている。海から名取

	<p>川を經由して貞山堀に入ってくる（七北川側は水門が閉じている）。井土浦と貞山運河の合流地点から七北田川までの区間が特別許可を頂いて漁を行っている。この期間についても工事や水辺で騒ぐなどの行為は控えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台湾で海苔漁場があり、工事中にコンクリートから発生するアルカリ成分が海苔に影響するため、9月から4月までは新しいコンクリートを水中に入れる等の工事について、控えていただきたい。 ・名取川で水上バイクやプレジャーボートなどのスピード超過がみられ、遭難の要請もあることから、安全に操行していただけるような規制をお願いしたい。
宮原座長	<ul style="list-style-type: none"> ・漁が再開し、漁期など、生き物のカレンダーに配慮いただきたいというお話を頂いた。
事務局	議題（2）藤塚地区の歴史を感じる“よすが（心の拠り所）”について説明。
宮原座長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど東海林委員より神社の整備や昔からある地名や道路についてご意見を頂いているが、他にご意見があればお願いしたい。
川邊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地元を良く知る方々の思いを再現することが良いと思う。 ・藤塚地区は震災の記憶の伝承だけでなく、太陽光発電、小型風力発電、アクアイグニスの地中熱回収・活用、井土浦などの重要な自然など、SDGsの要素が豊富である。 ・子供たちがたくさん来て見学・学習できるような場・しかけづくりが重要。 ・あと2回ある検討会の中で、アクアイグニスの東側（親水護岸に至る部分）の整備、あり方が大きなポイントである。 ・来週に名取市と仙台市広域行政の協議会があるが、ここでも藤塚地区の話題（舟運の復活、サイクリングロード拠点）があがっている。この話を前に進めたいというのが両市の想いであることから、この検討会では一定の方向性を示さなければいけないと思っている。 ・漁業への配慮などとも両立させ、色んな人の想いを未来志向で前に進めていかなければいけない。 ・仙台市の海岸エリア全体の活性化、にぎわいづくりをしたいという中で、藤塚地区は、仙台港周辺、荒浜と共に大きな拠点の一つであり、起爆剤として動かしていきたい。
東海林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県道（嵩上げ道路）周辺のゴミが増えた。近くの畑周辺にもみられるようになった。清掃活動など地元民による活動が必要になってくる。 ・コロナ禍で自治会等の集まりがなくなり、地域の決め事ができない。 ・神社の維持管理についても、集落がないため、農家をお願いするしかない。 ・将来に向けて、藤塚地区の維持管理が心配である。
平間委員	<ul style="list-style-type: none"> ・五柱神社は我々にとってもシンボリックな存在であり、灯籠の寄贈をさせていただいた。 ・伝承動画を館内で流したり、施設内の温泉の名前の藤塚の湯としたり、地酒にも地名を入れ販売するなど、なるべく土地の名前を残したいと考えている。 ・鎮守の杜は五柱神社を隠してしまうのではないか。 ・津波の浸水想定を考えると、駐車場の位置は海側より陸側の方が避難しやすいのではないか。 ・避難路を確保するためにも道路整備をして幅員を太くしてはどうか。
事務局	議題（3）自然環境と景観の調和について説明
宮原座長	<ul style="list-style-type: none"> ・震災後に自然が復元し、貴重な生きものが戻ってきているというお話もあることを踏まえ、ご意見を伺いたい。

宍戸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦を深く掘ってもらえれば、福島の松川浦のようなアオノリの漁場になるという漁業者がいる。
東海林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年から2年くらい東谷地の生物の調査を行っていた。その際に集合場所や拠点となる場所があれば良いと感じた。
奥山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦へ渡る方法がないので、より近くで観察する際にどのようにアクセス（船なのか、橋をかけるのか）するかがポイントとなる。
阿部課長 (仙台市公園整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦は自然を保全するエリアであり、橋を架けたり掘削したりといった整備を加えることは想定していない。SUPやカヌーといった水面を走るものに限った利用で、現状のままの利用を考えている。
櫻井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性が一番大事であり、SUPやカヌー、ゴムボートで利用する限りは、自然環境に配慮できるので問題ない。藤塚の船着き場からのアクセスになるが、ボートなどの道具を置く拠点が必要である。 ・拠点で休憩できて食事もとることができれば、東側は良い景色なので、利用価値があると思う。
宮原座長	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の方でカフェテラスをやりたい方など、色々なインスピレーションを持っている方々も出てくると思う。いろんなアイデアを盛り込んでおくことは大事だと思う。
今崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦の水深が課題であり、SUPやカヌーが安全に利用できるような状態に最低限整備する必要がある。
宍戸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦内は水深が50cm程度になるため、船外機付きの船は入れない。
平館委員	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦は震災直後に津波で埋まった際、震災前の状態に戻す意見もあったが、学識経験者からの意見を参考に自然のまま保全をしている。ただし、河口部の閉塞は環境的に良くないので、河口だけ掘削している。井土浦には貴重な海浜性植物や昆虫が生息しているため、色々な人が立ち入って遊ぶ場としては考えていない。水面の利用は可能と考えている。 ・東谷地と船着き場の間の民地については、例えば、今後この窪地を民間の方が購入し、その際に河川区域も使用したいということであれば、国土交通省管理の堤防側も含めて使用できる。
川口企画調整担当 課長 (仙台市観光課)	<ul style="list-style-type: none"> ・井土浦の自然環境を保全することが第一である。 ・ただ単にSUP体験をするような場合は、名取川でやってもらう。 ・井土浦のSUPやカヌー利用については、国立公園・国定公園のように自然に見識のあるネイチャーガイドのような方を使って、自然に配慮し、解説を聞きながらやってみてはどうか。 ・最近アドベンチャーツーリズムが流行りつつあり、土地の文化や自然に関心のある方が参加している。今後はネイチャーガイドを育てていくことも必要だと思う。 ・親水護岸の整備について、新たに事業者を入れるのは厳しいのではないかと。かわまちてらすでやられているSUPの中にネイチャーガイドを入れ、藤塚の船着き場を利用していき、というように段階を踏んでいくのが良いと思う。その上で、どのように整備をしていくか、という議論が必要と思う。 ・井土浦の利用に関しては、自然環境の専門家を交えて議論が必要。
宮原座長	<ul style="list-style-type: none"> ・みなさんおっしゃる通り、井土浦の自然は本当に重要だと思う。 ・冒頭でかわまちてらすの概要を聞いて感じたことは、閉上は後ろに新しい住宅地が接しているが、藤塚はまだこれからといった地域であり、両者は川を挟んで全く性格の違う地区といえる。それは全体で見ると1つの魅力と言える。

	<ul style="list-style-type: none"> ・藤塚のフラットな地形を利用しながら、かわまちてらすと違ったものを取り入れたり、トロッコ等の何か動きがあるものであったり、みんながくつろげる場があることで、お客様に違う楽しみを提供できると思う。 ・井土浦・東谷地は変化していく自然を見守っていくという意味で、サンクチュアリとした方が良いと思う。 ・ネイチャーガイドのような自然を説明し、自然の楽しみ方を一緒に分かち合えるような人材を育てていくことが大事だと思う。 ・漁業への配慮（工事時期や利用時期の制限）についても、それがここの生態系を保全していくための活動のひとつと位置づけていくことも大事だと思う。 ・仙台市民や名取市民が震災後の新しい環境をみんなで守っていきながら、それを学びに来る人達によってもにぎわいが創られる、という場になれば良い。 ・藤塚の良さを活かしていくデザインをみんなで考えていきたいと思う。
大黒委員	<ul style="list-style-type: none"> ・貞山運河とアクアイグニスの連結が重要な点である。 ・井土浦の活用には、ソフトの立ち上げ、育成が必要である。 ・みなさんから頂いたアイデアをなるべく取り入れて、公園のデザインを反映させていきたい。
宮原座長	<ul style="list-style-type: none"> ・藤塚地区は津波で造られてしまったというイメージではあるが、そこを上手に再生していくというところでは、皆さんから頂いたご意見は魅力的であり、第3回検討会に向けて盛り込んで頂きたいと思う。
櫻井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・8/6に広浦で花火大会があり、仙台空港関連で様々な制約があることが分かった。藤塚は広い土地があり、来年は藤塚で開催してはどうか。空港からのアクセスも良く、温泉や宿泊施設もある。
宮原座長	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市と名取市は様々な整備を通じて良いお付き合いができており、そのことは貴重なことである。今後も何かできることがあれば、ご検討いただきたいと思う。
5. 閉会	<p>司会あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の第3回検討会は8月下旬を予定。
	(閉会)